

茨城キリスト教大学主催の「異文化交流プロジェクト」に参加しました

1. 開催日時 7月15日(月)海の日 13:00-16:00
2. 場所 茨城キリスト教大学
3. 趣旨 茨城キリスト教大学の「プロジェクト実習」と茨城大学人文学部の「プロジェクト実習」の合同企画。経済産業省の提唱する社会人基礎力を身につけるとともに汎用的技能の習得が「プロジェクト実習」の目標です。さらに、プロジェクトの一環で日本の高校生が外国人との異文化交流する機会を設け、大学生として高校生の異文化理解と異文化交流のサポートをすることが目的で大学に高校生を招待して開催されました。
4. 参加高校 水戸啓明高、茨城キリスト教学園高、日立二高、日立北高、水戸三高
湯本高
5. 内容 茨城キリスト教大学の教員と学生8名、茨城大学の外国人留学生15名、招待された高校生で実施されました。プロジェクトは3部構成で、それぞれ参加した高校生と外国人が英語で話したり、ゲームをしたりしながら異文化交流できるように工夫されていました。

第1部 「なんでもバスケット」

参加者全員のイスを人数より1つ少なく丸く並べ、中央に立った出題者が英語でみんなに質問します。その質問に該当した人はイスを確保できますが、イスを確保できなかった人は中央に立って質問する側に回るルールです。

第2部 「アルファベットゲーム」

参加者をグループ分けし、机の上に積み上げられたジェンガ(積み木)に番号が書かれてあり、また1~40の紙には英語で質問が書

いてある。その質問に正解するとジェンガを一つ引くことができ、引いたときジェンガの山を崩してしまったら負けになります。



ジェンガを積んでアルファベットゲーム



文化交流ゲーム

第3部 「文化交流ゲーム」

テレビに映し出された質問に対する答えを外国人や他の学校の生徒と話し合っって答えを見つけ、その答えに該当する国旗の札を上げるゲームです。世界史や現代社会の知識も必要で、英語ばかりでなく総合的な知識も試されます。



中国人留学生とも英語でゲーム



他校の生徒とも交流ができました

6. 参加生徒の感想 今回の異文化交流プロジェクトに参加して、水戸啓明高校で実施している外国人との交流会、JICAの研修員との交流会、アメリカ人高校生の学校交流を経験しているのでスムーズに外国人と交流できた気がします。また、他校

の生徒とも交流できたことは大きな励みになりました。他校の生徒達もグローバルな問題に高い意識を持っていて、将来は海外留学や国際関係系の学部を持つ大学に進学を希望していることを知りました。学校では毎日同じ仲間と学習しているが、他校の生徒や多くの外国人と交流できるこのような機会はとても新鮮で自分自身の高校生活の幅を広げるには最適な場所だと思う。また、ゲームの中に英語だけでは解決し得ない総合教科的な知識を要求されるところもあり、日頃からどの科目も疎かにせず学習する意欲も出た。これからは大学が主催する様々なイベントには積極的に参加するつもりです。

(2年生 O さん)



みんな真剣に異文化交流



学食の Lunch を味わいました